

E-mind ベンチャー技術連携推進会を新たに発足

(株)日立情報システムズ(社長:高須昭輔、本社:東京都渋谷区)は、優れた技術・サービスを所有するベンチャー企業とビジネス連携し、最適なソリューション提供をめざす E-mind 事業(事業名称)を昨年6月に参加ベンチャー企業27社とスタート致しました。その後の積極的展開により現在ではベンチャー企業約56社との協業をもとに、事業の発足以来12件のベンチャー連携での受注・引合案件の獲得を達成致しました。今後さらにベンチャー企業との連携を推進する目的で、新たにベンチャー技術連携推進会を発足致します。

【1】推進の状況

ビジネス連携事業「E-mind」へのベンチャー増加の状況

ITベンチャー企業を次のカテゴリーに分けました。

SI組込みパッケージ分野	11社	17社
技術支援分野	8社	18社
XSPサービスプロバイダー分野	1社	8社
ターンキー・パッケージ分野	7社	13社

ITベンチャー企業の発掘に際しては、ベンチャー企業の持合せる技術や開発の方向性を双方で確認し、多様な顧客のニーズに合わせることでできるような商品開発を指導して奨め、日立情報の顧客担当とのビジネス協業の機会を創出して参りました。

「E-mind」での主な成功事例の実績と今後の狙い

日経BP社殿における問い合わせメールの受付、返信システムの構築

全日本空輸株式会社殿におけるeCRM対応での高速大量メール配信サービス

大手出版会社におけるOnetoOne対応のWebプロモーションサイト構築

損保会社におけるJavaでの短期開発

その他以下の引合案件を獲得中です。

ネット証券会社におけるWebシステムの構築

携帯電話対応のショッピングモールの構築とそのASP化

ベンチャー企業との連携においては、当社の顧客の業務(現場の多様な要望)を事前に調査して、ベンチャー企業が持つ製品技術指向の製品やサービスを、顧客のシステム管理者のニーズに上手く適応できるようにシステムインテグレーションを行っております。

ベンチャーの製品・サービスを顧客の多様なニーズや応用面に適応させ、アプリケーションを開発すると共に、構築されたシステムの稼働環境の整備を行い、その後の運用を含むトータルなアウトソーシングサービスを提供しております。

顧客向け「E-mind」運用Webサイトの改善

従前のWebサイトでは、パートナー及び顧客に個別の電子会議ルーム(電子掲示板)を設け、顧客の各種お問い合わせに対して、当社の顧客担当が電子会議ムールを介してベンチャー企業との連携を取るこ

とができるネット対応型の Web サービスでしたが、今回新たに顧客の業務改善テーマ、ソリューション要件をキーワードにして、ベンチャー企業の製品・サービスを検索できるよう、ベンチャー支援の為にビジネス連携 WebDB の構築を行っております。

当 WebDB 検索サービスでは、顧客のシステム管理者にも活用頂けるよう、過去の問い合わせ履歴を蓄積して FAQ 方式で最適なベンチャー製品を検索することが可能となります。

【 2 】ベンチャー技術連携推進会を新たに発足

～大手企業の現場のご要望を標準化、ITベンチャー企業と大手企業がベンチャーの技術活用を推進するコラボレーションの場所を提供致します。～

日立情報では、ベンチャー企業と大手・中堅企業とのビジネス連携を広めることに協賛頂ける、大手・中堅企業の現場のシステム管理者や、ネットワークやシステム開発に携わる SI パートナー・関連企業及び広くベンチャー企業を募集し、ベンチャー企業と大手・中堅企業との連携を推進させる為の推進会を新たに発足させます。

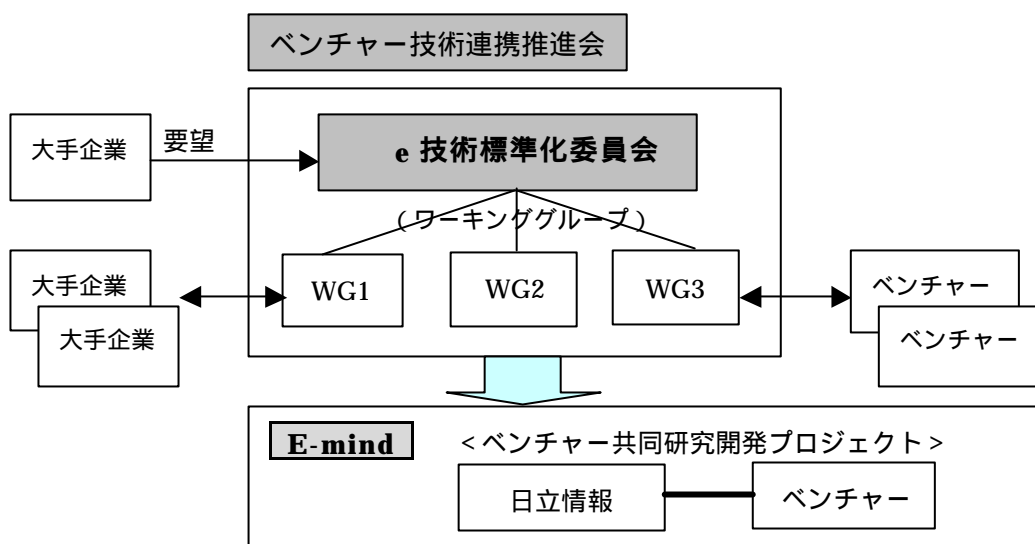
<ベンチャー技術連携推進会設立での効果>

「E-mind」でのお客様のメリット

- 開発効率のよい納期の早いソリューションの提供を受けることができる
- ベンチャー企業の製品を Web 上にて FAQ 方式で検索することができる
- ベンチャー技術連携推進会を介してベンチャー企業の製品動向や要望を出すことができる

「E-mind」でのベンチャーのメリット

- 日立情報との連携による販路拡大と信用面強化による商品の収益力 UP
- 日立情報との共同研究開発プロジェクトにおける開発製品の共同マーケティング
- ベンチャー技術連携推進会を介して大手企業の現場管理者との連携が深まる



ベンチャー技術連携推進会のもと e 技術標準化委員会ではベンチャーの製品・サービスをカテゴリー別に分類し、各カテゴリーでのワーキンググループを設けます。ワーキンググループでは参加された大手・中堅企業の現場のニーズとシステム要望を標準化し、ベンチャー企業のソフトパッケージやサービスに反映させる為のスタディーやデザイン及びそのコンサルティングを行い、その報告書を参加の会員メンバー企業に提

供致します。事務局では、今後 300 社の大手・中堅企業と 100 社の SI パートナー・関連企業及びベンチャー企業を募集致します。

ベンチャー技術連携推進会では、e 技術標準化委員会を設け、非常勤の顧問相談役（約 5 名）を選任してベンチャー企業の効率的な有効活用を図るべく会員企業の要望を取り纏め、現在の会員ベンチャー企業のビジネスモデル、製品・サービスを選定し、大手企業の現場の顧客の目線からみた業界標準の仕様要件の策定を行います。E-mind 事務局では、上記の e 技術標準化委員会の推奨を得て、ベンチャー企業との共同研究開発プロジェクトを立てて業務アプリケーションパッケージを開発し、ベンチャー企業とその製品の共同マーケティング・販売を展開致します。

ベンチャー技術連携推進会の設置場所	(株)日立情報システムズ E-mind 事務局 住 所：東京都渋谷区道玄坂 1-16-5 連絡先：TEL 03-3464-8145 角田
e 技術標準化委員会	メンバー企業 30 社予定
参加会員費用	無料
ワーキンググループ	SI 組込みパッケージ分野（例） - CRM - 検索エンジン - モバイル 技術支援分野（例） - Web システム構築の効率化

今後の展開

国内外の優良ベンチャー企業との連携を行うと共に、大手・中堅企業の顧客の要望を取り纏めベンチャー技術連携推進会を介して、優良顧客の囲いこみを行います。

【 3 】事業目標

2003 年までに優良ベンチャー企業 100 社との連携を行う。（現在約 60 社）

2003 年までに年間売上 300 億円規模の優良大手・中堅企業 100 社のベンチャー技術連携推進会への参加を募集する。

2002 年度の販売支援計画は新規顧客 30 社、受注 5 億円を狙う。

お問い合わせ先

サービスに関する問い合わせ

問い合わせセンター FainDesk（ファインデスク）

TEL 0120-346-401(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日は除く)

FAX 03-3770-5712

e-mail faindesk@hitachijoho.com

記事に関する問い合わせ

E-mind 事務局 角田（〒150-8540 東京都渋谷区道玄坂 1-16-5）

TEL 03-3464-8145

FAX 03-3464-5310

E-mind 公開 Web サイト <http://www.e-mind.ne.jp>